

まつっこ

笠松町立松枝小学校
令和5年度 学校だより
11月27日発行 No.8



冒険いかだ

さあ、船出の時が来ました。

2時間以上かけて、みんなで協力して組み立てた世界でたった一つだけの「いかだ」です。

船(いかだ)が着水すると、「フワッ」と浮いた感触が体に伝わってきます。その瞬間、子供たちの目はいっそう輝きます。自分たちの手で、苦勞して組み上げた「いかだ」です。喜びもひとしおでしょう。「いかだ」に取り付けられた旗は、「仲間との団結の証」です。航海途中、もし、深い湖のど真ん中で壊れてしまったら、大変なことになります。仲間との団結と信頼があるからこそ、この船(いかだ)に安心して自分たちの命を預けられるのです。

今年初めて、5年生が「琵琶湖研修」へ行ってきました。その中で、メインの活動となるのが、「いかだ作り体験」です。「いかだ」を自分たちの手で組み立てて乗る体験活動なのですが、これだけ大勢の人が乗れる「いかだ」となると、崩れないようにするために、それなりのコツや苦勞が必要となります。

インストラクターの先生方にも感心させられました。

「先生、できません。」ロープを結んでいたある子が、インストラクターの先生に助けを求めました。

しかし、先生は、すぐに教えようとはしません。「まず、できるところまで自分でやってみてごらん。」「隣の友達が上手にやっているよ。見てごらん。」など、できるところまで自分でやらせようとする先生の姿から、子供たちにより遅くなってほしいという強い願いが伝わってきました。完成までの時間は掛かりますが、それ以上に大切なことを学ぶ機会となりました。

「めんどう(不便)を楽しむ」は、本校の教育方針の一つです。子供たちは、「自分たちでも、こんな大きな船を組み立てて、冒険することができるんだ。」という感動を味わうことができました。こういう経験をぜひ日本の明るい未来につなげていってほしいものです。

12月の予定 ※11/24現在

- 12/1 (金) 全校4時間授業(給食あり) 午後1時10分下校
- 12/4~12/10 人権週間
- 12/4 (月) 全校5時間授業 午後2時45分下校
- 12/5 (火) クラブ
- 12/6 (水) 6年薬物乱用防止教室 なかよし遊び
- 12/7 (木) 6年トップアスリート講座(バレーボール)
- 12/8 (木) 4年木曾三川平田氏紙芝居
- 12/11 (月) 芸術鑑賞会(「不思議の国のアリス」)
- 12/12 (火) 5年6年ケータイ安全教室 委員会 スクールカウンセラー来校
- 12/13 (水) PTA講演会「命と愛と防犯 親から伝える性教育」 会場: 体育館 9時開場
講演会9:15~10:45 臨時PTA総会10:45~11:00
授業参観 4時間目の参観 11:20~12:05 まなび懇談
- 12/14 (木) ひまわり ふれあい教育展(メディアコスモス ドリームシアター)
- 12/15 (金) 6年笠松中学校入学説明会(行きは学校からタクシー、帰りは保護者と現地解散)
- 12/18 (月) 全校5時間授業 午後2時45分下校(12/25まで)
- 12/19 (火) 笠松町あいさつ運動① 学校運営協議会 クラブ(3年クラブ見学) 代表委員会
- 12/20 (水) 笠松町あいさつ運動②
- 12/21 (木) なかよし遊び 12/22 (金) 大掃除
- 12/26 (火) 後期前半終了 全校集会(テレビ放送) 通学班会 一斉下校 午後2時下校
- 12/27 (水) ~1/8 (月) 冬休み 1/9 (火) 冬休み明け全校朝会



■感性をはぐくみ、感動を生む体験活動「まつっこ冒険隊」

松枝小学校では、6年生の「木曾川下り」や5年生の「冒険いかだ」体験のように、児童自らが願いをもち、主体的に活動する体験活動(仮称「まつっこ冒険隊」)を教育活動として位置付けています。

1年生は「シャボン玉体験」をしました。シャボン玉名人が作る大きなシャボン玉の中に入ってびっくりした子どもたちは、自分でも大きなシャボン玉が作りたいという願いをもって、試行錯誤。夢中になってシャボン玉を作りました。

2年生は、清流里山公園に出かけ、自分がやってみたいことを自分で決めました。乗馬体験、動物との触れ合い、芝滑りやおもちゃ作り。自己選択した活動を時間いっぱい楽しみました。



3年生は、笠松にある「辻兼食品工業」の黒田さんから豆腐作りについて学び、手作り豆腐に挑戦しました。うまくいった子もいかなかった子もいますが、初めての豆腐作りに子どもたちの好奇心は大いに刺激されました。この冬には、歴史博物館で昔の生活や遊びを体験する予定です。

4年生は、学校にある大きなケヤキの木に登る「ツリーイング」を体験しました。高い所から見た校庭や校舎、仲間の姿は、子どもたちの目にどんなふう映ったのでしょうか。

こうした体験活動を通して、子どもたちは、「体験したからこそわかる何か」を感じ取ります。それが、子どもたちの感性をはぐくむこと、そして感動を生むことにつながると考えます。

松枝小学校では、これからも、「まつっこ冒険隊」の活動を大切にしていきます。

